

バクニュバンス®を接種される お子さんのご家族の方へ

〈監修〉ふじおか小児科 院長 藤岡 雅司 先生

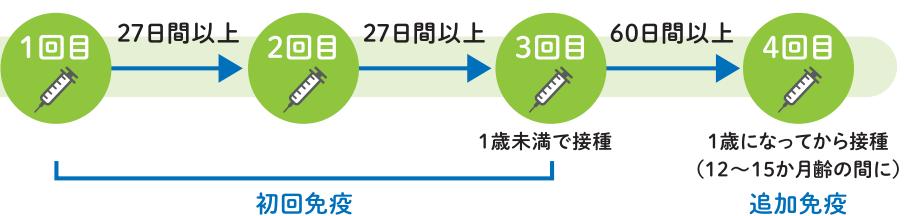
バクニュバンス®の接種スケジュール

〈標準的なスケジュール〉 生後2か月のできるだけ早いタイミングで接種を始めましょう。

最初の3回は0歳児での予防、追加の1回は1歳以降の予防のために接種します。

初回接種開始時の月齢

2～6か月齢



●標準的なスケジュールで接種できなかった場合

初回接種開始時の月齢(年齢)

7か月齢～1歳未満



1歳～2歳未満



2歳～18歳未満



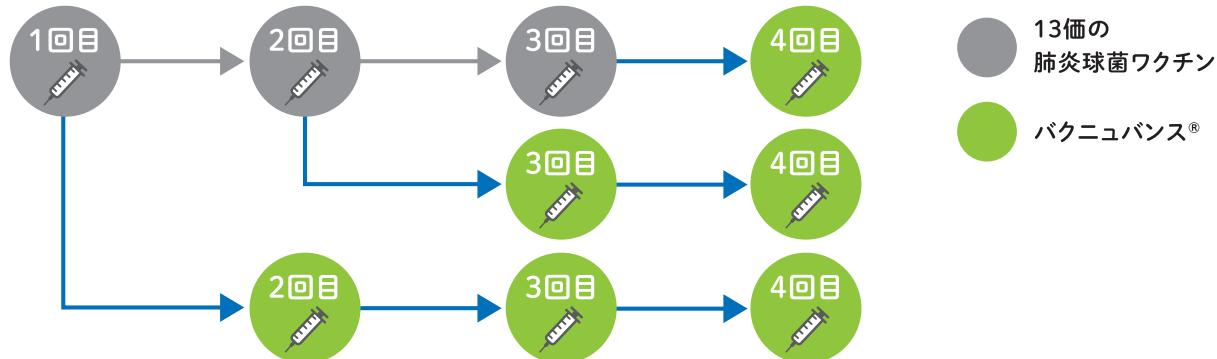
小児の定期接種は、生後2か月以上5歳未満のお子さんが対象です。

肺炎球菌による感染症にかかるリスクが高いと考えられる場合は、任意接種として受けることもできます。

標準的なスケジュールで接種できなかった場合や任意接種に関しては、医師にご相談ください。

13価の肺炎球菌ワクチンで接種を開始した場合の切り換えについて

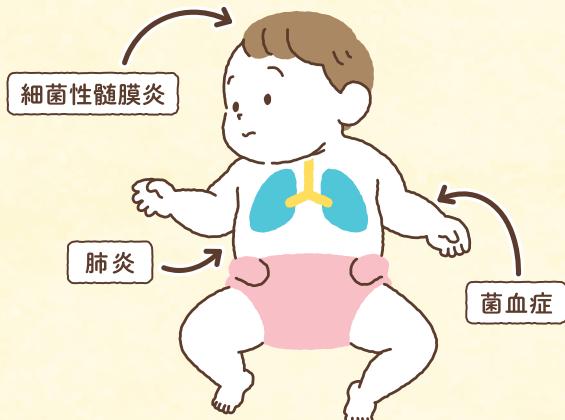
13価の肺炎球菌ワクチンにより接種を開始したあと、途中でバクニュバンス®に切り換える場合、残りの接種回数はバクニュバンス®での接種となります。



小児肺炎球菌ワクチンとは？

子どもの2～3割は鼻やのどに肺炎球菌をもっているといわれており、乳児や体の抵抗力(免疫)が弱ったときなどに感染症を引き起こします。重症になると、後遺症が残ることや命にかかわることもあります。

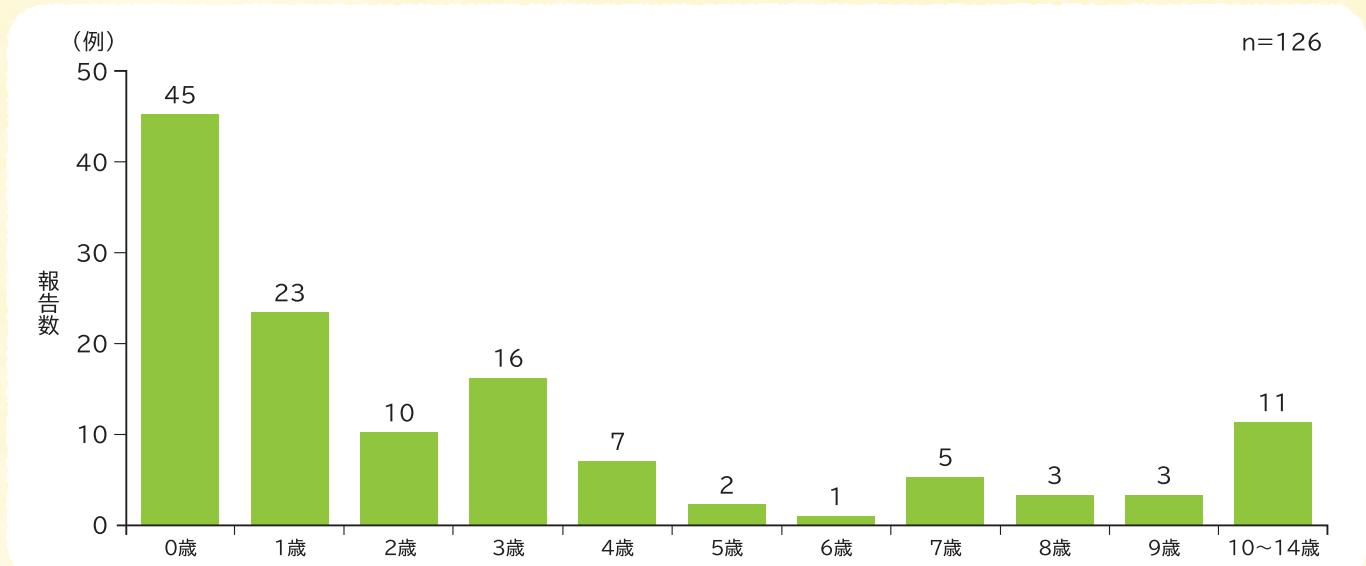
バクニュバンス®は、肺炎球菌の中でも重い感染症を起こしやすい15の型(種類)による肺炎球菌感染症の発症を予防するワクチンです。



公益社団法人 日本小児科学会. ~日本小児科学会の「知っておきたいわくちん情報」～肺炎球菌結合型ワクチン.
https://www.jpeds.or.jp/uploads/files/VIS_B-02haien_yukin_202312.pdf(2024年2月閲覧)
厚生労働省. キヨウコノワクチン 小児の肺炎球菌ワクチンのはなし.
https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenko_u_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/tool/dl/leaf01-02.pdf(2024年2月閲覧)

肺炎球菌性髄膜炎の発症は0歳児が最も多かったため、 生後2か月からのワクチン接種が重要です。

小児肺炎球菌ワクチンの定期接種開始前の調査(2006～2011年)では、子どもの肺炎球菌性髄膜炎は0歳児に最も多かったことが報告されています。



対象と方法: 感染症サーベイランス事業による全国約460か所の基幹定点医療機関からの報告をもとに2006～2011年の肺炎球菌性髄膜炎のデータ(計318例: 0～14歳126例、15歳以上192例)を年齢別に集計した。

厚生労働省/国立感染症研究所、IDWR (Infectious Diseases Weekly Report) Japan 2012年 第16週(4月16日～4月22日): 通巻第14巻 第16号.より改変

バクニュバンス®の主な副反応

バクニュバンス®接種後の主な副反応には、以下のようなものがあります。このような症状が続く場合や、その他接種後に気になることがある場合は、医師にご相談ください。

注射部位が赤くなる、
腫れる、硬くなる、痛む

38度以上の発熱



食欲がなくなる

不機嫌になる

眠くなる



接種時に注意すること

接種前は…

- 体調は良いか、熱がないかなど、普段と変わったところがないか確認しましょう。
- 接種の際には、母子健康手帳と、(お持ちであれば)予診票に記入の上、持参しましょう。



接種後は…

- 接種後30分は、医師とすぐ連絡がとれる場所で、お子さんの様子を見守りましょう。
- 注射部位は清潔に保ちましょう。
- 当日は入浴してもかまいませんが、体を洗うときは注射部位を強くこすらないようにしましょう。
- 接種後に熱が出たり、注射部位が腫れたりすることがあります。熱や腫れが続く場合などは医師にご相談ください。

この他に気になることはありますか？

